

平成 29 年第 10 回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 平成 29 年 10 月 24 日 (火) 14 時 00 分
- 2 閉会日時 同 日 15 時 00 分
- 3 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 高 橋 晴 彦
委 員 内 藤 堯 雄
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 多 田 久 子
委 員 沼 澤 郁 美

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	達 可 忠 久
次長 (子育て未来政策担当)	中 倉 建 男
次長兼教育総務課長	内 藤 利 樹
参事兼学校教育課長	本 玉 義 人
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	森 幸 三
総合教育センター所長	植 田 正 吾
教育総務課長補佐兼総務係長	民 輪 寛 美

- 6 付議事項

議案第 33 号 加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する
条例の制定について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

- 8 質問及び討議の内容

議案第 33 号 加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する
条例の制定について

こども未来課長より説明を行う。北条幼稚園と北条西保育所を統合し、平成 30 年 4 月から新たな認定こども園を開設するにあたり、関係する 3 条例を改正する。統合する北条幼稚園と北条西保育所を関係条例から削り、新たな認定こども園の名称を「北条ならの実こども園」とし、現在の北条幼稚園の所在地とする。

教育委員より、新たな認定こども園の名称が「北条ならの実こども園」となった経緯について質問がある。

こども未来課長より、北条幼稚園、北条小学校の保護者、関係者、地域の方々から新たな認定こども園の名称が「北条西こども園」となることについて、北条幼稚園の 100 年余りの歴史が名前とともに消滅してしまうことを苦慮され、名称の再考を求める意見が事務局に寄せられていた。これまでの仮称を「北条こども園」ではなく、「北条西こども園」としたのは、平成 27 年に私立園の北条保育園の施設長と「北条こども園」の名称使用について協議した経緯があり、北条保育園は、数年先にこども園に移行するときには「北条こども園」と名付ける意思があり、将来において名称が重複することを市側で避けたためである。平成 28 年に統合に向けた保護者説明会を重ねながら、「北条」でも「北条西」でもない統合園の名前を模索していたところ、北条幼稚園の保護者から同園長を通じて、北条幼稚園、北条小学校の園・校歌、園・校旗に登場する「ならの実」を採用する提案があり、本年、北条幼稚園において、保護者にアンケート調査を行った結果、「北条ならの実」が相応しいと答えた方が多くあった。その後、北条小学校長、公立園長会等で相談し、「北条西」よりも児童や保護者、地域住民の理解が得やすく、北条小学校のマスコットキャラクター「ならみー」の活用で、幼小交流の機運も高まるとの意見をいただいた。また、北条保育園にも了解を得ている。これまでの地域の要望や関係者意見を勘案し、条例制定にあわせて「(仮称) 北条西こども園」から正式に「北条ならの実こども園」に改めると回答する。

教育委員より、北条小学校の校章も「ならの実」であるので、こども園にぴったりのかわいらしく、素敵名称である。良い名前が決まったと思うとの意見がある。

教育長より、条例案件であるので、12 月議会で、市長より提案する方向で進める。関連する規則は、次回の教育委員会で提案する予定であるため、現在作業中であると説明する。

9 議決事項

議案第33号 加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する
条例の制定について

原案通り可決

10 報告事項

教育長

この1月間の主な事項等について報告する。

- (1) 計画訪問、小学校体育大会、善防公民館まつり、図書館まつりに参加。教育委員の方も参加。特に、善防公民館まつり、図書館まつりは、台風の影響があったが、何とか実施することができた。
- (2) 10月1日 泉中学校区の認定こども園整備に向けた地域説明会（満久町）
教育長、達可教育部長、中倉次長、伊藤課長が説明会に参加。
- (3) 10月3日 立命館大学東山教授市民荣誉授与式・ふるさと後援会（北条高校）
イグノーベル賞を受賞された東山教授への市民荣誉賞授与式及び記念講演会に出席している。
- (4) 10月5日 平成30年度～33年度事業実施計画ヒアリング
新年度に向けて事業計画、臨時事業の市のヒアリングが行われた。次年度の予算編成に向けて進めているところであり、決定次第報告させていただく。
- (5) 10月17日 東播磨・北播磨社会教育・公民館研究大会（善防公民館）
- (6) 12月補正予算について、国の景気対策、地方創生の大きな補正がないため、事業の精算が主になる。ただ、この度の台風の影響で、学校の木が倒れるなどの被害がでているため、事業費を精査して、足りない場合は補正をする予定である。まだ、内部的な協議状況の段階である。確定した後、来月の委員会で報告させていただく。

参事兼学校教育課長

4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果について報告する。結果をまとめた広報誌は、小・中・特別支援学校の保護者に配布するとともに、各地区で隣保回覧をしている。この調査は、小学校6年生と中学校3年生を全児童生徒対象として、教科に関する調査と生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査を実施している。この調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であるが、全国規模の調査であり、非常に

有効な調査であると考えている。

学力に関する状況は、全国平均と比べて、小学校6年生は、国語Bでやや低い他は、全国と同程度であった。また、中学校3年生は、国語A・B、数学A・Bの全てにおいて、4ポイント以上高いという結果であった。これは、平成19年度に本調査が始まって以降、最も良い結果である。それぞれの教科の領域ごとの結果と定着傾向が認められた項目・問題、課題が見られた問題を掲載しているが、小学校国語では、漢字を正しく読む力がついていて一方で、同音異義語を正しく書くことに課題が見られた。中学校国語では、漢字を正しく読むことが身につけているし、これまで課題が見られた表現の仕方をとらえて自分の考えを書くことについても、改善傾向にある。小学校算数では、立体の面と面の位置関係を理解することができているが、小数と整数の足し算に課題が見られた。中学校数学では、連立二元一次方程式を解くことができる一方で、主に知識を活用する問題において、数学的な表現を用いて記述することに課題がある。

生活習慣や学習習慣について、左上の表は、今回の調査で改善傾向がみられた質問内容を掲載している。注目すべき点として、「自分には良いところがある」という設問では、平成27年度比で小学校で約8ポイント、中学校で約15ポイント伸びており、児童生徒の自尊感情が高まっていることがうかがえる。中学校においては、読書が好きな生徒の増加、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある生徒の増加が顕著であり、今回の教科に関する調査の好結果の一因でもあると考えている。

また、今回の学習指導要領改訂により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しているが、それに関連する項目を教科に関する調査結果と質問紙調査結果をクロス分析して掲載している。肯定的な回答をしている児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られた。

今後は、各校で詳細な分析を進め、各校の課題に応じて改善策等を講じていくことになるが、12月25日に福社会館において「かさい学力向上セミナー」を開催し、課題の共通理解とその改善策等について、周知を図っていきたいと考えている。

教育委員より、生活習慣や学習習慣について、「自分には良いところがある」という設問に対して、小学校、中学校も、ポイントの伸び率が顕著に上がっているが、特に中学校で上がっているのは、学校で何か特別なことをしているのか、自然の流れなのかとの質問がある。

学校教育課長より、中学校においては、道徳教育を中心に、自尊感情、規範意識を高めていく取組を進めており、その成果が徐々に表れてきたのではないかと考えると回答する。

教育委員より、そういう意味では、道徳教育を受けて、自分に自信をつけるのはとても大切であるという意見がある。

教育委員より、生活習慣や学習習慣について、ポイントが一番上がっているのは、中学校の「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」である。平成 27 年度比で、19 ポイント上がっていて、よい傾向である。自分に対する意識と同時に社会に対する意識が広がっていくことは、合わせて考える必要があり、中学校の時期というのは、より社会に目が広がる時期なので、引き続き大事に伸ばしていただきたいという意見がある。

こども未来課長

認定こども園の整備状況について報告する。「北条ならの実こども園」については、平成 31 年 2 月の完成を目指して、工事を進めている。工事中ではあるが、在園児は、仮設園舎で過ごしている。卒園式は、新園舎の完成後、3 月に行う予定である。できるだけ、今仮設にいる園児が新園舎で長く過ごせるよう、工事の進捗、開園準備等、円滑に進めていく。

泉中学校区の認定こども園については、11 月に建築設計事業者の入札を行う予定をしている。現在、地権者、地域の方々との協議を進めているところであり、予定どおりの平成 32 年 4 月の開園を目指して手続きを進めている。

生涯学習課長

秋のイベントについて報告する。「第 51 回加西市盆栽展」は、10 月 27 日～29 日にアスティアかさい 3 階交流プラザで開催する。加西市盆栽研究会が中心となり、丹精込めて育てられた作品 28 点を展示する。

「第 25 回ふれあい伝統芸能フェスティバル」は、11 月 23 日に播磨農高祭との同時開催で実施する。播磨農高の郷土伝統文化継承クラブ（播州歌舞伎）の他、5 団体の出演を予定している。

総合教育センター所長

平成 29 年度「いじめ防止運動」持ち回り作品展について報告する。児童生徒が、いじめの未然防止を目的とした標語やポスターを創作することで、いじめに対して正しく認識し、いじめを防止しようとする意識の高揚を図るため、市内小学 5・6 年生と中学 1 年生には標語を、中学 2・3 年生にはポスターを募集したところ、応募総数は、1,381 点を数え、うち標語が 982 点、ポスターが 399 点であった。審査会を経て、学年毎に、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 8 点を選出した。アスティアかさいのウォークギャラリーにおいて入賞作品展を開催し、広く市民の皆様にも、いじめ防止啓発と子ども達がいじめ防止

に向けた取組を紹介した。市内小中特別支援学校全 16 校において 1 週間ずつ、持ち回り作品展を実施している。市内各校から応募された標語・ポスターの入賞作品を身近に鑑賞し振り返ることで、よりいじめを防止しようとする意識の高揚を図っていきたいと考えている

教育委員より、標語を考えたり、ポスターを描いたり等、しっかりといじめについて向き合うことは、とても良いことだと感じる。入賞作品展も観てきたが、どの作品も素晴らしかった。今後もぜひ続けて欲しいとの要望がある。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

教育委員より、教育委員の学校計画訪問について、一層の充実を図るために、指導主事も加わって意見交換する機会を作ってはどうかとの提案がある。

教育部長より、計画訪問では、教育委員の感想・意見を聞く場として、あえて指導主事は、その場で意見を述べていない。学校経営や授業に関する具体的なことは、事務局として、その後、学校へ伝えていると説明する。

教育委員より、訪問する時は、1 園・校ずつ意見や感想を述べているので、全て訪問して終わった後で、全体を通して検証し、総括する機会もあってもよいのではとの意見がある。

教育長より、総括的な機会を次回作ると回答する。

1 3 今後の予定について

- ・第 11 回定例教育委員会 11 月 28 日（火）14:00～5 F 会議室（大）
- ・第 12 回定例教育委員会 12 月 26 日（火）14:00～5 F 会議室（大）
- ・平成 30 年第 1 回定例教育委員会 1 月 29 日（月）14:00～1 F 多目的ホール

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

平成 29 年 10 月 24 日

出席者

(出席者署名)